

地域再生計画（污水処理施設整備交付金）事後評価調書

都道府県名	青森県	事業実施主体	三沢市	地域再生計画名	水が育む環境にやさしいまちづくり計画
計画期間	平成23年度～平成27年度	評価責任者	三沢市上下水道部下水道課長、市民生活部環境衛生課長		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価		
	指標1	指標2	基準年度	H22	年度	中間実績	基準年度	最終実績				
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	污水処理人口普及率の向上	72.4%	H22	/	/	/	81.4%	H27	82.4%	○	污水処理施設1棟、管路施設L=872m、浄化槽（個人設置型）6基の整備により目標値を達成できた。
	指標2	放流水のBOD（生物化学的酸素要求量）抑制による水質改善	200mg/L	H22	/	/	/	20mg/L	H27	3mg/L (年平均値)	○	污水処理施設を総合的に整備したことにより、目標値である20mg/L以下を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度（H）	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	農業集落排水施設（污水処理施設 管路施設）		1棟 910m	/	1棟 872m	農業集落排水施設の完成により、地域住民が安全に暮らせる生活環境の基盤整備が図られた。						
	浄化槽（個人設置型）（設置基数）		15基	/	6基	浄化槽（個人設置型）希望者が活用したことにより、農業用排水路等への生活排水混入防止が図られた。						
その他の事業	公共下水道の整備		公共下水道の整備促進により污水処理人口普及率の向上を図る			公共下水道の整備促進により、公共下水道普及率（人口）がH22年度55.3%からH27年度61.8%と6.5%上昇し、污水処理人口普及率の向上に貢献している。						
	排水路整備		農業用排水路を改修し、農業経営の安定化と維持管理の低減及び水害による防災機能と地域の水環境や生活環境の向上を図る。			東日本大震災により被災した農業用排水路の改修を行った。						
	河川清掃等		市内全域でのクリーン大作戦や三沢漁港のボランティア清掃を行う。			連合町内会が主体となって行われる年2回のクリーン大作戦や日米合同のボランティア清掃により、地域の水環境や生活環境の向上に貢献している。						
計画外で独自に実施した事業												
④評価方法	担当課による自己評価、担当課以外の複数部署による内部評価、行政改革推進委員による外部評価により検討を行う。											
⑤事後評価の公表方法	三沢市ホームページに掲載											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画においては、污水処理施設整備交付金を活用し農業集落排水施設と浄化槽（個人設置型）の整備を行った。両事業により、三沢漁港周辺地域における污水処理の基盤整備が行われ水環境や生活環境の向上に一定の効果がみられるが、全ての家屋（世帯）が整備された農業集落排水施設を活用しているわけではないため今後は加入率の向上に努める必要がある。											
⑦今後の方針等	地域の水環境及び生活環境の向上には基盤整備だけでなく、農業集落排水施設を使用可能な家屋（世帯）の接続が必要であることから加入率の向上を図る必要がある。											